

# 男子学生が少なかったため、よく サロン・シーボーに集まっていました。

1905年、愛知淑徳女学校誕生。70周年に4年制大学開学、そして90周年の1995年に大学は男女共学体制となります。併せて既設の文学部に加えて現代社会学部の新設で2学部体制となり、現代社会学部第1回入学生455人のうち、男子学生は115人でした。

卒業生に学園の思い出を語っていただくシリーズの第20回は、男女共学となった大学の初の男子卒業生、伊藤宏治さんの登場です。

高校に在学中、愛知淑徳大学が男女共学になり、新しく現代社会学部ができることを新聞の全面広告で知りました。英語とパソコンが必修という点に興味を持って受験し、入学。長久手キャンパスは7号棟ができたばかりで、パソコンの授業では一人一台使っていました。

五十音順にクラス分けされましたが、やはり女子学生が多く、男子ばかりで固まっていることが多かったですね。サロン・シーボーが男子学生のたまり場ようになっていて、食事でもできる売店もあつて便利だったので、授業の合間やお昼になるとよく集まっていました。宿題やレポートを書くこともありました。

部活には入っていませんでした。教職課程や博物館学芸員の資格取得のための授業を受けていたこともあり、3年生の時には4年次でしか取れない単位以外は全部取得していました。取りすぎ、というくらい単位を取っていたので、遅くまで授業があつたんです。

サークルではありませんが、韓国から淑徳に来ていた留学生と親しくなり、大学の体育館でバレーボールをしたり、アイハウスへ遊びに行ったりしたこともあります。彼女たちとは今でも交流が続いています。

当初、現代社会学部には国際社会、地域社会、メディアの三つのコースがあり、国際社会コースを選びました。西尾林太郎先生のゼミで、日本と台湾の関係について研究しました。ゼミは20人ぐらいでしたが、男子学生は3人だけでした。

3年のゼミ旅行で台湾か韓国、中国、沖縄のどこかへ行くことになりました。台湾に決まると、四泊五日で行きました。台湾は戦時中、日本の占領下にあつたので、反日感情が強いのではないかと思っていたのですが、逆に日本を好きという人が多くて意外でした。国立政治大学で日本語を学んでいる学生と交流をしましたが、こちらは台湾について全然知らないのに、彼らは日本の文化や流行に詳しい。とても驚きました。

それまで海外には全然、興味がなかつたのですが、このゼミ旅行で二挙に関心が高まりました。それ以後の年のゼミ旅行にも、3年生に混じって参加しました(笑)。今度は韓国で、提携大学の大邱カトリック大学の学生と交流したり、バンムンシヨム(板門店)へ行ったりしました。

就職活動は苦戦しました。当時は今と同じように超水河期だったことに加え、淑徳の初めての男子卒業生ということで、企業に先輩がいなかつたためハンディキャップがあつた

です。面接で、なぜ淑徳を選んだか聞かれただけで終わった、という話を聞いたこともあります。

そこで公務員ならそういうハンディもないだろうと、4年の時、公務員試験を受けましたが、全く歯が立ちませんでした。これはしっかりと取り組まないといけない、翌年、再受験することを決心。8月の韓国へのゼミ旅行後、10月から専門学校に通い始め、大学とのダブルスクールで勉強に専念し、卒業後に受けた試験で合格することができました。

現在は公立高校で事務の仕事をしています。ゼミの友人たちも公務員や教師になつている人が多いですね。大学の頃の友人とは、今も飲みに行ったり、野球やサッカーを見に行ったりと、仲がいいですよ。

愛知淑徳大学へ行ったことで、自分の興味、関心の幅が広がりました。ゼミ旅行以来、韓国へは毎年行っていますし、台湾や東南アジア、最近ではヨーロッパなど、年に2〜3回は海外へ出かけています。行くたびに現地の友人が増えるので、観光というより友だちに会いに行く感じです。

行く先々で現地の言葉が話せたらいいと思うので、独学で勉強し、2年前には淑徳大学の星が丘キャンパスで韓国語能力試験を受験し、3級に合格しました。ほかにも中国語など別の言語もマスターしたいので、勉強は続けたいですね。(談)

# シリーズ20 百周年を迎えて



愛知淑徳大学現代社会学部現代社会学科  
第1回卒業生(平成12年度卒業)

## 伊藤宏治さん

昭和51年生まれ。現在33歳。  
大学卒業後、地方上級公務員試験に合格。都道府県職員として、現在は東海市の公立高校で事務や設備等の仕事に従事する。趣味は海外旅行で、年に2〜3回は海外を訪れている。語学修得にも熱心に取り組む



4年生の時、7号棟のコンピュータ室で。当時、パソコンはMacだったため、「勤務先ではWindowsですが、今でも家ではMacを使っています」とのこと。左が伊藤さん



3年生の9月、ゼミ旅行で訪れた台湾



卒業式にゼミの仲間と。左上は西尾先生。伊藤さんは中段左端

再受験することを決心。8月の韓国へのゼミ旅行後、10月から専門学校に通い始め、大学とのダブルスクールで勉強に専念し、卒業後に受けた試験で合格することができました。

現在は公立高校で事務の仕事をしています。ゼミの友人たちも公務員や教師になつている人が多いですね。大学の頃の友人とは、今も飲みに行ったり、野球やサッカーを見に行ったりと、仲がいいですよ。

愛知淑徳大学へ行ったことで、自分の興味、関心の幅が広がりました。ゼミ旅行以来、韓国へは毎年行っていますし、台湾や東南アジア、最近ではヨーロッパなど、年に2〜3回は海外へ出かけています。行くたびに現地の友人が増えるので、観光というより友だちに会いに行く感じです。

行く先々で現地の言葉が話せたらいいと思うので、独学で勉強し、2年前には淑徳大学の星が丘キャンパスで韓国語能力試験を受験し、3級に合格しました。ほかにも中国語など別の言語もマスターしたいので、勉強は続けたいですね。(談)